

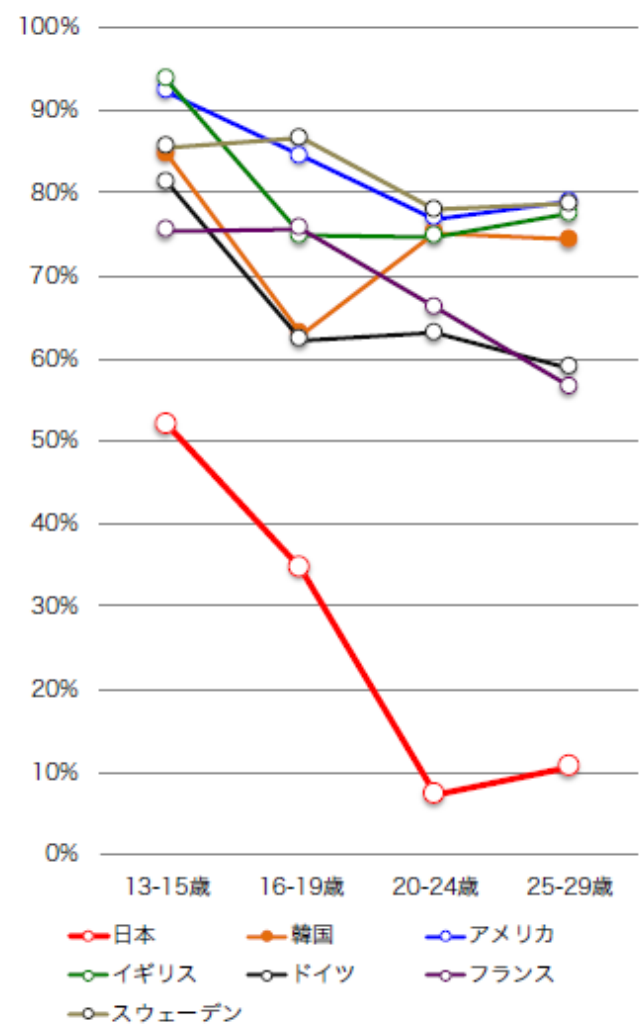
読解力低下と宇宙の学校

主体的な学びの低下 家庭学習レポートの意義 継続は力

副会長 稲葉 茂



昨年の12月3日に国際学習到達度調査(PISA)で、日本の高校生(15歳)の読解力が低下したことが公表された。文部科学省によれば、パソコンを使ったテスト形式に不慣れなことなどを要因に挙げている。



私は、この読解力低下は自分の将来に対する「夢や希望」と大きく関係していると考えます。左のグラフは、内閣府が実施した「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査(H25FY)」から作成した日本と諸外国の若者がもつ「希望」の状況を示しています。すべての調査対象国で、若い世代は希望をもつ者が多い。しかし、諸外国と比べて日本で希望をもつ若者世代は顕著に低い。

将来に希望を持っていないと何のために「学ぶのか」という意味を感じない。そのような子は、いろいろな本を読み、知りたいことを仲間や大人に訊くという行動はとらない。

一方、「宇宙の学校」が実施している「家庭学習レポート」の発表会を見ていると、身近な不思議としっかりと向き合い、探求することの楽しさを堂々と述べる子が多いことに驚かされる。「何がそうさせているのか」を考えながらその子らを見ていると答えは明瞭である。そこには、共通する姿が見られる。やらされている学びではなく、「自ら学ぶ姿」である。「宇宙の学校」の教材には、日本の教育が抱えている課題を解決するためのヒントが数多く隠れていることに改めて驚かされている。

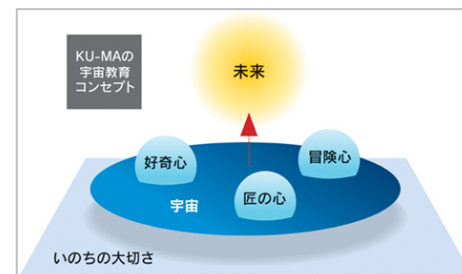
KU-MA とわたし

会員 橋本 正之



KU-MAとの出会い
KU-MAについては定年退職の頃の川初代会長からちよっとだけお聞きしたのだが、その時には趣旨を的確に理解できなかった。
2代目会長との出会い
あるとき自宅近くの何時もの散歩道で偶然平林2代目会長とお会いし、何回か宇宙の学校に参加させて頂き、さらに運営委員会での議論も傍聴させて頂いた。
宇宙の学校で印象深かったこと
学校による質問内容の特徴にビックリ
初めの話の内容とは関係なく90%以上ブラックホールの質問をする学校と広く広範囲のことを満遍なく知ろうとする学校があり、この違いはどこから来るのだろうかと思議に思えた。

若返り効果抜群
ここ数年、野菜作り、緑化環境保全活動、放送大学視聴などに多くの時間を費やしてきたが、これからの世代との交流は特効薬であった。子供たちの様子を見ているうちに、この活動は家族の絆を強化し、やってみることに面白さを実感させていると思うようになり、初代会長の意図がようやく少し理解できるようになった。
KU-MAの原点
いのちの大切さ
KU-MAの基本コンセプトに次の挿絵がある。
これは当初的川初代会長から聞いたKU-MAの設立意図を図に描いたものと思われる。
我々の命も長い宇宙活動の間に垣間現れた現象にすぎないのだから、何故宇宙が一番下のベースでないのか? など些細な疑問が浮かんだ。しかし宇宙の知識を含め全て命があつてはじめて意味のあることだと思ふところの絵は全く正しいと思われてきた。



「宇宙の学校」10周年記念事業 特別セミナーを開催!!

2月11日に東京都新宿区、2月24日に青森県弘前市で10周年記念事業を開催しました。初めてお会いする方や久しぶりにお会いした方など、たくさんの方にお会いできて嬉しく思いました。講演や教材紹介、交流の時間も大変好評をいただき、『教材を活用してみたい』『もっと交流の時間が有ったら良かった』『宇宙の学校』を開催してみたい』など、アンケートも大変参考になりました。ご参加いただいた皆様に御礼申し上げます。

延期となってしまった長崎、国分寺会場は決まり次第お知らせします。



ここ数年、野菜作りに専念しているが、完全無農薬で作ろうとすると虫が最大の敵である。せっかく育った立派な苗が朝根元からちよん切られているのを見ると、「こんにゃるめー!」と思う。でもその犯人を見つけると周りの草むらに放り投げて、「そこで草刈りを手伝ってくれ!」とつぶやく。どうも長いこと彼らと付き合っていると、たとえ2cmの小さな虫さんでも命が愛おしくなってくるようだ。これもKU-MAの影響なのだろうか?

KU-MAへの期待

- ・ KU-MA メールマガジン、宇宙茫茫ヘッドラインはとても有益
- ・ 退職などで現場と離れた後でも最新的话题を知れる貴重な情報
- ・ 詳しく知りたいときにはリンクが貼られているのが便利
- ・ 基本的なことは本や放送大学などからも学べるが、ホットな話題は困難
- ・ これだけでも入会の価値あり
- ・ 今後も是非継続して欲しい